



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド 上場取引所 東・名  
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,994	△17.5	668	△75.6	781	△71.6	533	△68.9
25年3月期第2四半期	16,959	15.9	2,740	173.6	2,746	168.7	1,714	149.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 784百万円 (△44.3%) 25年3月期第2四半期 1,407百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.56	—
25年3月期第2四半期	66.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	46,315	41,293	89.0	1,590.04
25年3月期	49,337	41,030	83.1	1,579.79

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,244百万円 25年3月期 40,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△13.6	1,400	△60.0	1,500	△61.0	900	△59.5	34.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	30,699,500株	25年3月期	30,699,500株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,760,457株	25年3月期	4,760,353株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	25,939,077株	25年3月期2Q	25,939,152株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、米国では個人消費を中心に緩やかな景気回復が一部に見られましたが、欧州における景気低迷の長期化や新興国の景気減速から全般的に停滞色が強く、世界経済の成長率予測が下方修正されるなど、先行きについても依然として不透明感が残る状況でありました。

世界半導体市場は、スマートフォンやタブレット(多機能携帯端末)関連需要は拡大したものの、従来型パソコンの世界出荷台数が前年同期比で大幅な減少となり、引き続き低調な状況となりました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高13,994百万円(前年同期比17.5%減)となりました。また、利益面では、営業利益668百万円(前年同期比75.6%減)、経常利益781百万円(前年同期比71.6%減)、四半期純利益533百万円(前年同期比68.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、低調な半導体市場を背景にしたシリコンウェハー向け製品、CMP向け製品の販売減少、および非半導体関連の一般工業用研磨材の販売減少により、売上高は8,347百万円(前年同期比31.7%減)となり、セグメント利益(営業利益)は1,258百万円(前年同期比60.0%減)となりました。

北米につきましては、低調な半導体市場の影響を受け、売上高は現地通貨ベースでは減少しましたが、為替が円安に推移したことから2,213百万円(前年同期比7.3%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は84百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

アジアにつきましては、従来型パソコンの出荷減少の影響はあったものの、アルミディスク向け製品の拡販努力により売上が増加したこと、臺灣福吉米股份有限公司(FUJIMI TAIWAN LIMITED)が新たにCMP向け製品の販売を開始したことから、売上高は2,604百万円(前年同期比54.8%増)となりました。しかしながら、FUJIMI TAIWAN LIMITEDにおける工場立ち上げ費用が嵩んだことから、セグメント損失(営業損失)が131百万円(前年同期はセグメント利益1百万円)となりました。

欧州につきましては、シリコンウェハー向け製品やCMP向け製品の販売が減少したことから売上高は829百万円(前年同期比15.9%減)、セグメント利益(営業利益)は44百万円(前年同期比46.1%減)となりました。

用途別売上の実績は、次のとおりであります。

当社グループの主力となるシリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場の需要減少の影響を受け、ラッピング材の売上高は1,557百万円(前年同期比5.5%減)、ポリシング材の売上高は2,767百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

CMP向け製品につきましては、アジア市場では最先端ロジックデバイス向け製品の販売が堅調でありましたが、低調な半導体市場の影響により、売上高は4,186百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、アルミディスク向け次世代製品の拡販により、売上高は1,185百万円(前年同期比33.5%増)となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、当第2四半期連結累計期間に入り回復の動きが見られたものの、売上高は3,327百万円(前年同期比40.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、3,022百万円減少し、46,315百万円となりました。これは、現金及び預金が1,711百万円、受取手形及び売掛金が543百万円、原材料及び貯蔵品が529百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、3,285百万円減少し、5,022百万円となりました。これは、未払法人税等が1,401百万円、その他の流動負債が1,117百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、263百万円増加し、41,293百万円となりました。これは、為替換算調整勘定の貸方残が242百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済に減速感があり半導体市場の先行きが不透明であることから、平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した予想値を据え置いております。今後、業績予想値の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,023	12,311
受取手形及び売掛金	6,021	5,478
有価証券	5,109	5,103
商品及び製品	2,673	2,622
仕掛品	1,114	999
原材料及び貯蔵品	2,068	1,539
繰延税金資産	610	623
その他	285	214
貸倒引当金	△31	△27
流動資産合計	31,877	28,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,197	8,136
その他（純額）	7,248	7,196
有形固定資産合計	15,445	15,333
無形固定資産		
無形固定資産	608	638
投資その他の資産		
投資有価証券	115	129
繰延税金資産	18	23
その他	1,470	1,523
貸倒引当金	△198	△198
投資その他の資産合計	1,406	1,478
固定資産合計	17,460	17,450
資産合計	49,337	46,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,173	2,451
未払法人税等	1,605	203
賞与引当金	679	598
役員賞与引当金	—	14
その他	2,610	1,492
流動負債合計	8,068	4,761
固定負債		
繰延税金負債	31	23
退職給付引当金	172	209
その他	34	27
固定負債合計	238	260
負債合計	8,307	5,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,069	5,069
利益剰余金	37,160	37,175
自己株式	△5,711	△5,711
株主資本合計	41,272	41,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	54
為替換算調整勘定	△339	△97
その他の包括利益累計額合計	△294	△42
新株予約権	52	49
純資産合計	41,030	41,293
負債純資産合計	49,337	46,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	16,959	13,994
売上原価	10,542	9,396
売上総利益	6,416	4,598
販売費及び一般管理費	3,675	3,929
営業利益	2,740	668
営業外収益		
受取利息	30	34
廃棄物処分益	14	11
為替差益	—	67
その他	29	24
営業外収益合計	74	138
営業外費用		
為替差損	58	—
減価償却費	6	5
固定資産除売却損	2	20
その他	0	0
営業外費用合計	68	26
経常利益	2,746	781
特別利益		
新株予約権戻入益	3	2
特別利益合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	2,749	783
法人税、住民税及び事業税	1,202	276
法人税等調整額	△179	△25
法人税等合計	1,023	250
少数株主損益調整前四半期純利益	1,726	533
少数株主利益	12	—
四半期純利益	1,714	533



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,726	533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	8
為替換算調整勘定	△309	242
その他の包括利益合計	△319	251
四半期包括利益	1,407	784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,408	784
少数株主に係る四半期包括利益	△0	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,749	783
減価償却費	780	985
長期前払費用償却額	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	36
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	36	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	65	△83
受取利息	△30	△34
為替差損益 (△は益)	64	△69
固定資産除売却損益 (△は益)	2	20
新株予約権戻入益	△3	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,542	592
仕入債務の増減額 (△は減少)	436	△777
たな卸資産の増減額 (△は増加)	361	776
未払金の増減額 (△は減少)	418	△596
その他	143	△21
小計	3,505	1,623
利息及び配当金の受取額	32	44
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△132	△1,631
法人税等の還付額	342	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,746	36
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,604	△1,106
定期預金の払戻による収入	1,002	1,404
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,500
有価証券の償還による収入	800	2,000
有形固定資産の取得による支出	△815	△1,191
無形固定資産の取得による支出	△166	△100
その他	△4	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,788	△495
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△39	—
配当金の支払額	△389	△518
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432	△523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△125	67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,400	△913
現金及び現金同等物の期首残高	11,579	14,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,980	13,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,228	2,062	1,682	985	16,959	—	16,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,061	521	32	—	2,616	△2,616	—
計	14,290	2,583	1,715	985	19,575	△2,616	16,959
セグメント利益	3,146	124	1	82	3,354	△614	2,740

(注) 1. セグメント利益の調整額△614百万円は、セグメント間取引消去77百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△681百万円及び棚卸資産の調整額△10百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	8,347	2,213	2,604	829	13,994	—	13,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,492	600	63	—	3,156	△3,156	—
計	10,839	2,814	2,668	829	17,151	△3,156	13,994
セグメント利益又は損 失(△)	1,258	84	△131	44	1,256	△587	668

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△587百万円は、セグメント間取引消去115百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△661百万円及び棚卸資産の調整額△41百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。